

■ 農村振興、生活改善の指導者

金 作之助

こん さくのすけ

出身地 北秋田市（旧森吉町）

1885年（明治18年）～1957年（昭和32年）

教職のかたわら夜学塾じゆくを開設、農村青年教育にんりよくに尽くす。のち、農民道場を開設、農村生活かいぜんの改善に当たる。さらに政治家に転身、農村振興・生活改善しんこうの事業おこを興す。金為助こんためすけの実兄。



年 譜

- 1885年 北秋田市（旧森吉町もりよし）に生まれる。
- 1908年 秋田県師範学校卒業。阿仁合尋常高等小訓導あにあいじんじょう。
- 1913年 至誠農業夜学塾しせい開設。農村青年の教育にんりよくに尽力。
- 1915年 真中尋常高等小学校訓導兼校長まなか。
- 1927年 農民道場・瑞穂行学舎みずほを開設。
- 1928年 農村文化叢書『農民生活の新様式』を刊行そうしよ。
- 1934年 米内沢町長。36年、県会議員よないざわ。
- 1940年 体験記録『生命凝視総合教育論』を刊行ぎょうし そうごう ろん。
- 1944年 『日本の農村』を刊行。
- 1957年 北秋田市（旧森吉町もりよし）で没。71歳ほつ さい。